



有事の際の再確認
函南町総合防災訓練



▲自衛隊と協力して炊き出し訓練が行われました

9月1日は「防災の日」です。
8月28日、防災の日を前に函南町総合防災訓練が函南町農村環境改善センターや酪農王国オラッチェ、各地区の公民館などの町内各地で行われ、自主防災会や町職員、各種防災機関など約7,000人が参加しました。
訓練では、避難生活テントの設営や飲料水確保のための緊急用浄水器の操作、災害時のペットの避難方法、自衛隊による炊き出し訓練、AEDを使った救護訓練などが行われ、大地震や災害などの有事の際に備えました。



敬老の日になんで
町内の高齢者を訪問

9月19日の「敬老の日」を前に、9月16日、町内の高齢者加藤ヤエ子さん（102歳）を訪れ、森町長からお祝いの花束と記念品を手渡しました。
加藤さんは小田原出身の元社会科の高校教諭で、若い頃は水泳が趣味でほぼ毎日泳いでいたとのこと。「長寿の秘訣は」と尋ねると「よくごはんを食べること。よく寝ていること」と話してくれました。
町内では、4月1日現在で100歳以上の長寿者は13人で、今年度8人が100歳を迎える予定です。



▲森町長から花束を受け取る加藤さん



4年5か月で達成
仏の里美術館来館者 10万人



▲長澤議長から花束を受け取る長谷川さんの長女奏乃ちゃん

9月18日、かなみ仏の里美術館の来館者が10万人を達成し、記念セレモニーが行われました。
記念すべき10万人目の来館者は、長谷川司さんのご家族（平塚市在住）で、関係者らとともにくす玉を割り、花束と記念品を手渡し10万人の達成を祝いました。
長谷川さん家族は初めての来館で、「ドライブにちょうどいい距離で1度訪れてみたかった。自分の干支の十二神将立像を見るのが楽しみ」と話してくれました。
また、毎週ボランティアで館内に花を生けてくれる高木美恵子さん（桑原）、関澤祐子さん（三島市）の2人に感謝状を贈りました。



伊豆半島のジオを学ぶ
夏休み小学生ジオツアー



▲函南町役場展望台で説明を受ける児童

8月9日、町内・伊豆市・伊豆の国市のジオポイントを巡る夏休み小学生ジオツアーが行われました。
同ツアーは、町内の小学生に地元伊豆半島のジオについて興味をもってもらうことなどを目的に行われ、小学4年生～6年生17人が参加しました。
函南町役場では、展望台から眺めることができる田方平野や駿河湾についてジオガイドから説明を受け、その後伊豆の国市、伊豆市のジオポイントを巡りました。
参加した小学生からは「自分の町のジオがわかった。みんなにも知ってほしい」。などの感想が聞かれました。



記念植樹の状況を確認
町民の森づくり事業

8月14日、畑・南箱根ダイヤモンド東側付近でボランティアによる町民の森づくり事業が行われました。
暮らしの恩恵をもたらす山を育て適切に管理するため、町民、町議会議員、町職員など約50人が参加し、枝払いや下草刈りなどの整備を行いました。
町民の森は、平成15年度に町制施行40周年記念として整備され、約1ヘクタールにモミジやサクラなど500本が植樹されました。当時は1メートル前後だった木々も約10年以上で5メートルほどに育った様子を確認しました。



▲下草刈りなどの整備を行いました



実体験を基に講演
児童虐待防止等講習会



▲2回に分けて事例に基づいた講演が行われました

8月23日、9月1日の2日間、函南町役場で児童虐待等防止講習会が行われました。
同講習会は、町内で児童虐待が起きた際の早期発見、早期対処することを目的に行われ、町内の小・中学校教職員、幼稚園教諭、保育士など約70人が参加しました。
講師には鈴木修さん（東部児童相談所所長）、香野毅さん（静岡大学教育学部教授）をお招きし、「子どもを死なせないことを徹底する」や「正義感を持って保護者へ指導する」、「発達障害児が通う施設と連携を密にする」などの事例に基づいた講演が行われました。